

2010年度 コンピューターリテラシー

クラス： B1

講義日： 前学期 月曜日7時限

ガイダンス

- 教員：桑田 正行
栗原 正純
- TA(ティーチングアシスタント)：大学院生
中井 健一郎
藤森 達也
生井 智司

ガイダンス

1. 受講心得とシラバスの説明
2. 計算機利用上の**注意点**の説明
3. **計算機**の使い方**(ログイン・ログアウト)**
4. パスワードの管理**(パスワードの変更)**
5. **Solaris**環境**(ログイン・ログアウト)**
6. 情報社会の脅威

本日、必ずやりたいこと(1/2)

1. 計算機環境へのログイン・ログアウトの確認
2. パスワードの変更(新しいパスワードの作成)
3. コンピュータリテラシー用のホームページ
(Moodle)へのログイン・ログアウトの確認
4. パスワードの変更(上記と同じパスワードで
よい)

本日、必ずやりたいこと(2/2)

- そこで、確認です。

「ログイン名」と「パスワード」が書かれた用紙を、今、手元にありますか？

受講心得

- 単位
- 成績
- グループワーク

単位

- 単位数: コンピュータリテラシー(2単位)
90分(1.5時間)×15回=22.5時間
- 学則による学習時間:
単位数: (15～30時間)/(1単位)
(30～60時間)/(2単位)
回数: (30～60時間)/(15回)
(2～ 4時間)/(1回) 毎週

成績

- 成績は 優 以上を取るよう努めよう。

グループワーク

- ・ 学生同士、協力しあって、学習を進めるよう。
- ・ 本学は「総合コミュニケーション科学」の創造を目指しています。
- ・ 学生同士のコミュニケーション、
学生と教員とのコミュニケーションを活発にしてください。
- ・ この授業では問題設定力や課題解決力を訓練するPBL (Problem Based Learning) を導入しています。

シラバス(主題および達成目標)

(a) 主題:

- コンピュータはもはや単に計算をする機械ではなく、情報を処理する機械である。情報社会においては、コンピュータと情報に関する基礎的な概念、理論およびその応用を活用する能力が求められている。
- 本授業では、専門に依らずに全ての学生が初年次において習得すべき、コンピュータに関する基本的な素養を学ぶ。

シラバス(主題および達成目標)

(b) 達成目標:

- 計算機の OS に Unix を用いた計算機利用方法を習得すること、コンピューティングの要素と構成、情報倫理、情報ネットワークとセキュリティについて理解することを目標とする。
- さらに、グループで問題解決型学習(PBL)を行うことによって、計算機操作の技能と情報に関する知識を活用する実践を行うことも目標とする。

- 前もって履修しておくべき科目
なし
- 前もって履修しておくことが望ましい科目
なし
- 教科書等 教科書：なし
- 参考書：なし

授業内容とその進め方

(a) 授業内容

はじめは単純・簡単な内容から、だんだんと複雑・高度な内容になるように、学習項目を螺旋状に組み合わせて授業を行う。

- 第1回 科目ガイダンス(計算機利用条件、計算機の使い方)
- 第2回 計算機利用方法(文書の編集)
- 第3回 情報倫理(知的財産権・個人情報・プライバシー)
- 第4回 コンピューティングの要素と構成
- 第5回 電子メール
- 第6回 Unix基本事項(基本コマンド、ファイル)
- 第7回 Unix基本事項(ディレクトリ、プロセス・ジョブ)

授業内容とその進め方

- 第 8回 情報の検索
- 第 9回 PBL(課題の提示)
- 第10回 情報ネットワークとセキュリティ
- 第11回 WWW
- 第12回 PBL(中間報告)
- 第13回 文書整形(テキスト)
- 第14回 文書整形(図、表)
- 第15回 PBL(相互評価)

(b) 授業の進め方

- 授業は講義と演習を組み合わせで行う。

授業時間外の学習

- （予習・復習等） 授業時間外にも演習を課す。予習・復習を行うことはもちろんのこと、 授業の2倍以上の時間をかけて学習をすること。